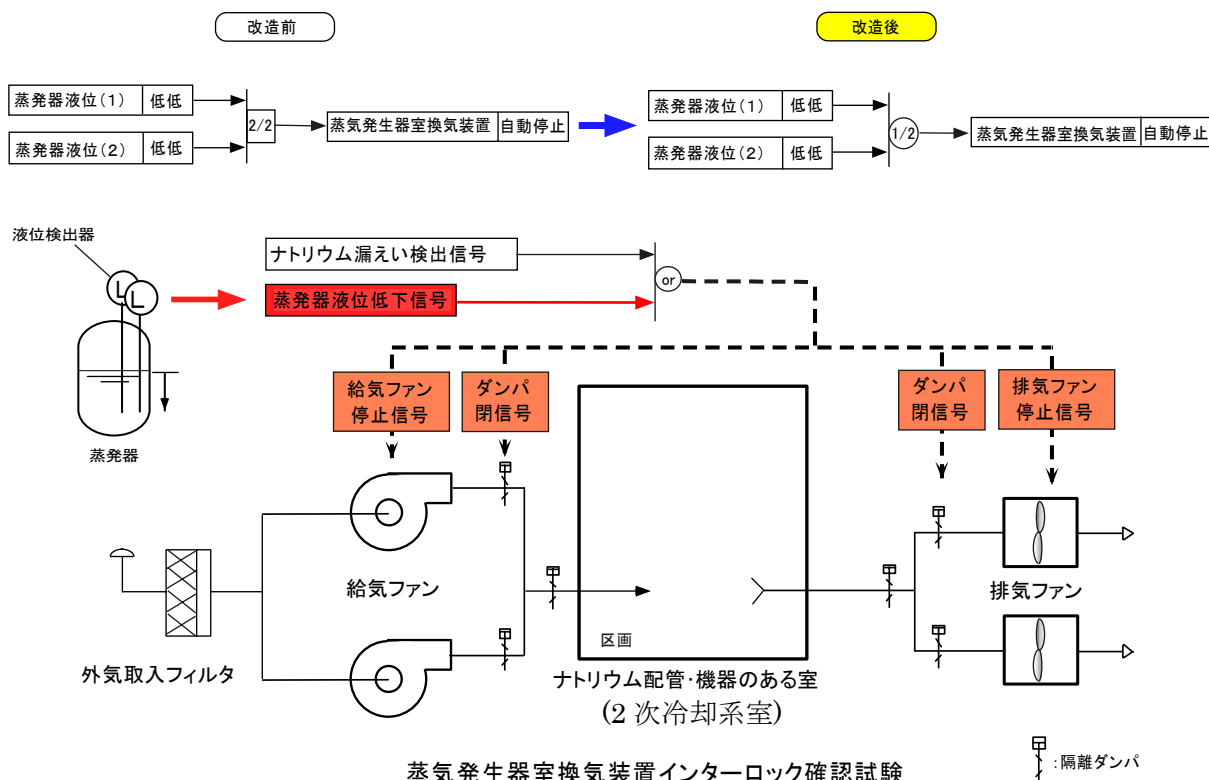


試験件名	2 次冷却系関連試験 (蒸気発生器室換気装置インターロック確認試験)	当該試験の速報回数	1
試験目的	2 次主冷却系大漏えい時の影響緩和対策として、蒸発器液位低低信号の発信ロジックを 2/2 (2 out of 2) から 1/2 (1 out of 2) に変更した。本確認試験では、各々の蒸発器液位低低信号の発信によって、換気空調設備停止インターロックが正常に作動することを確認する。		
試験範囲	蒸発器、蒸気発生器室換気装置		
主要な試験項目	試験内容	結果	実施時期
1 蒸気発生器室換気装置インターロック確認試験	二つの蒸発器液位低低信号のうち片側のみを発信させて、蒸気発生器室換気空調系の停止インターロックが作動することを確認する。	いずれの片側の蒸発器液位低低信号に対しても、空調系停止インターロックが作動することを、2 次冷却系 3 系統について確認した。	平成 19 年 3 月 26 日～ 同 28 日 試験完了

蒸発器液位低下信号発信ロジックの変更



蒸気発生器室換気装置インターロック確認試験



写真：確認試験実施状況

(試験結果)

二つの蒸発器液位低低信号の模擬信号をそれぞれ発信し、何れに対しても蒸気発生器換気空調系停止インターロックが作動することを 2 次冷却系 3 系統について確認した。